

1986年モデル

ゴールドウイング (GL1200) には大きな変更はありません。LTD はゴールドウイング (GL1200) SE-i と名称を改め、サウンドシステムには、ドルビーノイズリダクションが装備されました。アスペンケードも、オーディオがグレードアップして SE-i と同様のものを搭載。インターステートとアスペンケードともに、新しいリアフェンダースプラッシュガードが装着されました。

1987年モデル

SE-i が廃止され、インターステートとアスペンケードの 2 グレードのみのラインナップとなりました。両グレードとも、3 ステージフォーム付きのニューテーパーシートデザインを採用。アスペンケードは、インターステートでオプションとなるサウンドシステム、パッセンジャーフロアボード、パッセンジャーアームレスト、トランク内バニティミラーを標準装備していました。



1987年 GOLDWING (GL1200) INTERSTATE

1988年4月

究極のツアラー、ゴールドウイングの4代目となる水平対向6気筒ゴールドウイング (GL1500) が誕生。再びHondaは、ゴールドウイングのグレードアップ化を図りました。1,520cc 6気筒エンジンは、スムーズさ、静粛性、パワーともクラスの基準を塗り替え、新設計のシャシーは、ハンドリング性能と快適性の頂点を追求。独創的なモーター駆動のリバースギアや、サドルバッグとトランクのシングルキーオペレーションリッドなど、他のマシンにはない便利な装備を搭載していました。



1988年 GOLDWING (GL1500) 日本仕様車